



かるがも

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo>

2025年（令和7年）3月



技術の継承のために ～門松に寄せて～

病院長 皆川 真規

春の陽気が待ち遠しいこの頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。令和7年もよろしくお願ひ申し上げます。

竹中看護局長と私の間にある門松は、昨年12月26日に千葉県造園緑化協会からいただいたものです。協会では門松制作の技術を継承してもらうために、県内の造園業者対象に「門松づくり講習会」を毎年開催し、当院のほかにも千葉県庁などに作品の門松を寄贈くださっているそうです。

私たち千葉県こども病院でも、患者さんたちに最善の医療提供が行えるよう職員一同日夜励んでおりますが、次世代の医療人の育成も大きな責務の一つです。医師、看護師、薬剤師などの医療専門職の養成学校学生の臨床実習では、患者さんご家族の皆さんにもご協力いただいているところです。また、専門職の免許取得後である職員も医療の進歩に合わせて日々研鑽しつつ業務にあたっております。医療に対する社会の期待は極めて大きいものがありますが、医療提供はすべて画一的におこなうことができないものであり、職員ひとりひとりの日々の向上が求められます。こども病院が将来にわたって、患者さんたちに最適な医療提供を続けられるようご支援たまわりますようお願い申し上げます。



皆さま、いかがお過ごしですか？

診療部長 萩野 生男

2009年に着任し、2023年から診療部長をしている心臓血管外科の萩野です。外科系診療科の統括や、医療安全・倫理委員会の補佐などをしています。コロナ禍が過ぎ、以前とは違うかたちで診療体制は持ち直してきました。経験を通じて得られた大きな教訓は、感染に対する意識改革と対策ではないかと思っています。患者さんのご家庭や学校、職場はもとより、病院においても変わりました。とりわけウイルスや細菌による呼吸器感染症に対して、また以前と同様にある手術前や周術期の感染症に対して、より慎重に科学的医学的な検討をしたうえで治療に反映し、評価する仕組みが整ってきました。個々の治療方法は日々進歩を続けていますが、このシステムは標準化されました。一方、残念ながら発熱や上気道症状により入院や手術ができないことが増えました。保育園・幼稚園や学校で、感染源に接する機会が少なくなり獲得する免疫が減少したためであるならば、この状況の改善にはしばらく時間がかかるのかもしれません。

院内では、多くの職種で話し合い治療方針を決めるカンファレンスが増えました。多様な意見を踏まえてより良い医療を提供できるようになっています。ご安心ください。また、病院の使命が、老・病・死の克服であることに変わりはありません。こども病院では老の克服は成長にあたります。「その子らしく、その子のために」私たちは、邁進してまいります。こどもたちは、ごまかせません。





眼科

眼科では眼や眼瞼等の診察全般を行っています。生まれたばかりの赤ちゃんはまわりがぼんやりと見えている程度ですが小学校に入学する頃には視力は1.0まで成長します。視力の成長には鮮明な像がみえていることが大切です。視力を育てるための眼鏡の処方や見えにくさの原因となっている疾患の治療、訓練等を行っています。

お子さんの検査はまだご本人がお答えになれないため、成人と異なる方法を用いたり鎮静下での検査も多く行っています。

右眼と左眼を同時に使って立体的にみる力も8歳ごろまで成長します。両眼視機能を育てるための斜視手術も積極的に行っています。

幼児の生活は視力が0.3程度あれば不自由ありませんし、生来その見え方で生活しているため視力障害を訴えることはまれで大人から見てもわかりにくいのも特徴です。(下記日本眼科医会ポスター参照)そのため健診は重要となります。当科では要精密検査でお近くの眼科を受診されても検査ができなかったお子さんの診療も行っています。

日常生活で眼をさわる機会はほとんどないため眼科診察に恐怖心を感じている方がほとんどです。お子さんに無理のないペースでの診察を心がけていますが、不安な点やご希望がありましたらいつでもスタッフにお声がけください。



- 1 平野 香織
- 2 千葉県
- 3 他科と相談しやすいところ
- 4 犬と散歩
- 5 掃除 散歩



- 1 石川 真世
- 2 栃木県
- 3 自然に囲まれたのどかなロケーション
- 4 海外ドラマをひたすら観る
- 5 Housekeeping 好きなものを食べる



- 1 石坂 梓
- 2 埼玉県
- 3 温かい雰囲気
- 4 体を動かす
- 5 買い物 人と会う



- 1 西山 佑太
- 2 千葉県
- 3 スタッフが優しいところ
- 4 スポーツ観戦しながらお酒を飲む
- 5 子どもたちと遊ぶ キャンプ

1 氏名 2 出身地 3 こども病院の好きなところ 4 ストレス解消法 5 休日の過ごし方

幼児は視力0.3程度あれば、生活に不自由なく、気づかない

親の見え方の例



視力1.0イメージ

弱視児の見え方の例



視力0.3イメージ

幼児が「見えた!」と言っても親と同じようにくっきり見えているとは限らない

生下時からぼやけている

くっきり見る経験がない

不自由を感じない

※日本眼科医会ポスターより



診療科紹介

代謝科

千葉県こども病院代謝科は、先天代謝異常症を中心とした難治性疾患の診断・治療において、国内でも高い専門性を誇ります。私たちは、こどもたち一人ひとりに合わせた診療と、温かいサポートを通じて、ご家族とともに歩む医療を目指しています。

当院は、千葉県で実施されている新生児マススクリーニングの精査機関として、要精査となったお子さんを県内各地から受け入れて、精密検査と診断を行なっています。確定診断に必要な特殊生化学検査の多くを院内で実施できる体制が整っており、迅速な診断とスムーズな治療導入が可能です。また、近年開始されたライソゾーム病などを対象としたオプショナルスクリーニングの精密検査も対応しています。

ミトコンドリア病の診療では、国際連携を活用し、最新の医療を提供しています。当院は、国内で数少ないミトコンドリアの酵素解析を行える施設であり、県内はもとより全国の医師からのご相談に応じ、診断・治療を行なっています。ミトコンドリア病は未解明な部分も多く、原因遺伝子も多岐に及びますが、国内外の多施設との連携により最先端の診療を行なっています。

また、先天代謝異常症だけでなく、小児期に発症する肝疾患の診療や、家族性高コレステロール血症をはじめとする脂質異常症の診療も多数行なっています。小児肝疾患の診療においては、代謝性肝疾患だけでなく、ウイルス性肝炎、脂肪肝、自己免疫性肝炎、二次的な肝障害(心疾患、肥満など)、原因不明の肝障害・脾腫など、幅広い疾患に対応しています。

代謝性疾患の診療には、複数の専門分野が協力することが不可欠です。当科では、内科や外科をはじめとする診療科に加え、遺伝カウンセラー、栄養士、看護師など、多職種チームが一丸となってサポートします。お子さんの成長に合わせた柔軟な対応を行い、長期的なケアを提供しています。

千葉県こども病院代謝科は、専門的な診療と家族へのサポートを通じて、子どもたちの明るい未来を共に築いていきます。どんなご相談でも、お気軽にお問い合わせください！



- 1 志村 優
- 2 山梨県
- 3 多職種連携がしやすい
- 4 音楽関係の仕事
- 5 ランニング
- 6 マラソン



- 1 市本 景子
- 2 千葉県
- 3 職員みんながこどもの幸せを願っているところ
- 4 こどもの教育に関わる仕事
- 5 お笑い番組をみる
- 6 自分のこども達とゲームをして遊ぶ

1 氏名 2 出身地 3 こども病院の好きなところ 4 医師になっていなかったら 5 ストレス解消法 6 休日の過ごし方

「千葉県児童虐待防止医療ネットワーク事業」のご紹介

平成27年度より千葉県こども病院は千葉県から委託を受け、「千葉県児童虐待防止医療ネットワーク事業」の拠点病院として取り組んでおります。千葉県内の医療機関が連携して、医療現場からの早期発見、深刻化の未然防止のため、地域における児童虐待対応向上を目指しているところです。

事業の活動としては、地域の医療機関からの児童虐待対応に関する相談に応じること、医療機関や児童相談所など児童虐待に関わる関係機関との連携会議(千葉県児童虐待対策研究会)を年4回実施すること、医療関係者向けの児童虐待防止研修会を年2回開催することを主に行っております。

令和4年8月には、これまで以上に迅速的確に、かつ児童相談所や市町村と協働して対応できることを目的に「児童虐待Q&A」の改訂版を冊子として発行し、県医師会の全会員を始め県内の医療機関に配布いたしました。診察時や困ったときの行動指針として使用いただければ幸いです。

参考までに、これまで行った児童虐待防止研修会の内容について掲載いたします。ご興味がございましたらご参加を検討ください。研修会は医療従事者対象です。

令和5年度 第1回児童虐待防止研修会

シンポジウム

『10代後半の若者支援の諸問題 ～児童虐待事例を通して見た福祉と医療のあり方～』

- 「児童相談所の相談の流れと実情」 ● 君津児童相談所 土田氏
- 「10代後半の精神科的対応と医療資源の不足を考える」
● 千葉県精神保健福祉センター 石川氏
- 「アフターケアネットワークの取り組みと18歳以降の若者サポートの実情」
● ちば子ども若者ネットワーク 安井氏

令和5年度 第2回児童虐待防止研修会

『児童虐待対応のこれから』

- 「地域におけるこども・子育て支援を考える」 ● こども家庭庁 胡内氏
- 「中核市における児童相談所設置の進捗について」
● 船橋市役所 大屋氏
● 柏市役所 野戸氏

令和6年度 第1回児童虐待防止研修会

「虐待対応プログラム BEAMS Stage1/こどもから話を聞く(ロールプレイ)」

- 旭中央病院 仙田氏 ● 鴨川市立国保病院 小橋氏 ● 千葉県こども病院 小川氏



小児がんのこと、ご存知ですか？



小児がんは、こどもがかかるがんの総称を言います。日本の小児がんの発生数は年間約2,500人、もっとも多いこどもの病死原因です。小児がんは大人のがんとは異なり、生活習慣に起因するものではなく、原因が明らかとなっているものはほとんどありません。小児がんの種類は血液のがん(白血病・リンパ腫等)や固形腫瘍(脳腫瘍・神経芽腫・腎腫瘍等)といわれるものがあります。

小児がんの特徴は、症状が出にくく早期発見が難しい、がんの進行が早く全身に広がりやすい、といったものがあります。

小児がんの治療は、成人のがんに比べて、がん薬物療法や放射線療法の効果が極めて高く、ここ数10年の医療の進歩により、約7～8割は治ると言われています。

一方で約2割は治すことが困難で、現在も臨床研究や新薬の開発が進められていますが、欧米などでは新薬を使用できるのに日本では承認されていないため新薬を使用できないという「ドラッグ・ラグ」という課題が挙げられています。

また治るこどもが多くなる一方で、治療による合併症や復学などの問題、幼少の頃に小児がんとなったこどもが大きくなった時にどのように説明をしたら良いかなど不安や悩みを抱えるご家族も多くなっています。この他にも、小児がん患者を長期に観察すると、治った後しばらくしてから治療による合併症を発症する例が報告されています。これらのことから、こどもと家族を長期的に支援する、長期フォローアップを大人になっても継続して受けることが重要となります。

小児がんは様々な課題が多く、社会の皆さまの力が必要です。多くの皆様の理解が広がり、がんとなっても暮らしやすい社会を築いていけるよう、小児がんのことを知って頂けたら幸いです。

【がん化学療法看護認定看護師のご紹介】

山崎 隼樹

当院でのがん化学療法看護認定看護師は、抗がん薬の治療を受ける、様々な疾患のこどもとその家族を対象に、がん薬物療法を安全・確実・安楽に受けられるよう看護活動を行っています。

がん薬物療法を受けるこども達は、治療による副作用の出現が見えにくく、薬剤によって様々な症状が出現するため、副作用の予防・早期発見と対応が重要となります。私は、こども達の治療による副作用が最小限で生活を送ることができるよう、予防行動や早期発見・対応に力を入れています。

普段は病棟に所属していますが、他部署でがん薬物療法を受けるこどもと家族も対象に、横断的活動を展開しています。すべてのこども達と家族が、安心してがん薬物療法を受けられるように今後も努めて参りますのでよろしくお願い致します。



【小児がんに関して情報を必要としている皆様へ】

千葉県では、がんと診断された不安や悩みを相談できる身近な窓口や、医療費・生活費に対する支援制度が掲載されている「千葉県がんサポートブック」を作成しており、どなたでもご利用できるようになっています。

この他、小児がんに関して不安やご相談がありましたら、お近くの病院スタッフまでお声掛けください。

<千葉県がんサポートブック> <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/gan/soudan/support-book.html>





NICUベッド数 増えます!

産科分娩施設の皆様、平素より患者さまのご紹介をいただき、ありがとうございます。NICU病棟は、平成28年度より規模を縮小して6床で運営しておりましたが、令和7年1月より8床に増床となりました。早産児や低出生体重児についても、ご相談いただければと思います。よろしくお願いいたします。



千葉県こども病院 県民公開講座を開催しました



神山潤医師

令和6年11月23日(土)にホテルポートプラザ千葉に於いて、東京ベイ・市川浦安医療センターCEO 神山潤医師を講師に招き「睡眠の質と時間の関係」～質が良ければ短時間睡眠でも大丈夫!は正しい?間違い?～を開催しました。睡眠につ

いては、注目されている題材でもあり、参加者も活発に質問をされ、睡眠について楽しく考える時間を持つことができました。



**第23回 千葉県こども病院
県民公開講座**

令和6年
11月23日(土) 入場無料
13:30～15:00 (13:00～開場)

睡眠の質と時間の関係
～質が良ければ短時間睡眠でも大丈夫!は正しい?間違い?～
東京ベイ・市川浦安医療センターCEO 神山潤 医師

会場 ホテルポートプラザ千葉 4F(房総)
千葉市中央区平楽通8-5
2F・千葉都市モビルール「千葉みなと駅」徒歩1分

定員 定員80名 (申込先着順)

申込方法

<https://forms.gle/Py9Wn3o3gGz9d77>

問合せ
お申込 千葉県こども病院 こども・家族支援センター
TEL 043-292-2111 (代)

千葉県こども病院に新しい救急車が来ました!!



令和7年1月23日、待望の救急車が納車されました。

購入の一部に寄付金を当てさせていただきました。この救急車が地域の医療機関との懸け橋となり、こどもたちの小さな命を救っていきます。ご寄付をいただき、ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

